

一般社団法人日本社会福祉学会中部ブロック部会  
2015 年度研究例会 開催要項

1. 日時・会場・プログラム

(1) 日時 2015 年 4 月 18 日(土)

(2) 会場 日本福祉大学東海キャンパス(名古屋鉄道太田川駅徒歩 5 分)

(3) プログラム(拡大幹事会以外は、全て同じ教室を使用します。当日会場に掲示します)

10:00～10:50 大学院生・若手研究者のための勉強会

10:50～11:00 休憩

11:00～12:15 自由研究発表

12:15～13:15 昼食・拡大幹事会

13:30～16:20 シンポジウム「子どもの貧困と教育福祉」

16:30～17:00 総会

17:30～ 情報交換会

(4) 参加費 無料

2. 大学院生・若手研究者のための勉強会

趣旨説明と司会 谷口由希子(名古屋市立大学人文社会学部准教授)

10:00～11:30 「私の研究方法の紹介」鶴田禎人(同朋大学社会福祉学部専任講師)

10:30～10:50 質疑

3. 自由研究発表(各発表について報告 15 分、質疑応答 10 分)

司会 岩満賢次(愛知教育大学)、長谷中崇志(名古屋柳城短期大学)

11:00～11:25 「生別母子世帯が抱える生活問題—母子生活支援施設入所世帯のドキュメント分析を通して—」

武藤 敦士(立命館大学大学院社会学研究科応用社会学専攻博士後期課程)

11:25～11:50 「国際 NGO サポートボランティアの『志向』に関する考察—ベトナム・FFSC ボランティアへのインタビュー調査より—」

宮嶋 淳 (中部学院大学人間福祉学部)

11:50～12:15 「社会福祉学における『代理ミュンヒハウゼン症候群』の定義とは」  
小楠 美貴(聖隷クリストファー大学大学院社会福祉学研究科博士前期課程)

#### 4.シンポジウム「子どもの貧困と教育福祉」

##### (1)趣旨

子どもの貧困率が 16.3%と増加しているなかで、必要な支援のあり方、また世代間での貧困の連鎖を解消するための取り組みが求められている。

政策としては、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」(2013.6)「子どもの貧困対策に関する大綱」(2014.8)、あるいは「生活困窮者自立生活支援法」(2013.12)などが制定され、それ以外にも「子ども・子育て関連三法」や社会的養護による支援がおこなわれているが、このシンポジウムではそれらをふまえつつ、具体的な論点や方策について多角的に検討したい。その際には「子どもの貧困」のとらえ方を「所得の不足」に限定せず、障害のある子どもや被虐待児、いじめ、外国籍保護者の子どもなどを含めて拡張し、子どもの権利や生活、家庭支援のアプローチを考えたい。

##### (2)シンポジストとコーディネーター

###### ①シンポジスト

名古屋大学大学院教育発達科学研究科生涯発達教育学講座教授・中嶋哲彦先生

「子どもの貧困対策推進法の意義と課題」

愛知県立大学名誉教授・田中良三先生

「障がい児の『発達の貧困』と教育・福祉」

日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科准教授・野尻紀恵先生

「貧困の世代間継承を断ち切るために―スクールソーシャルワーク実践から―」

###### ②コーディネーター 金城学院大学人間科学部教授・柴田謙治

##### (3)タイムスケジュール

13:30～40 趣旨説明とシンポジスト紹介

13:40～15:10 シンポジストからの発題(一人 30分)

15:10～20 休憩

15:20～50 シンポジスト間のやりとり

15:50～16:20 フロアとのやり取り